

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童発達支援 はにーびー		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28 (回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い支援の専門性と保護者様満足度、かつ手厚い職員配置：専門的な支援を丁寧に行う体制が整っており、保護者満足度が高い点は大きな強みです。	個別支援計画を保護者様に説明し、日々の支援を記録して共有しています。現在はお子様1.2名に対し職員1名を配置するなど、安全確保を重視した配置を行っています。	支援成果をデータ化して定性的に可視化する「成長レポート」の作成をし、お子様への【はにーびーの支援の効果】を示す指標を導入したいと考えています。
2	安全管理と訓練の徹底：事故防止や緊急時対応などのマニュアル整備と訓練実施により、安全な支援環境を維持しています。	事故防止マニュアル・緊急時対応・感染症対応・BCP等を整備し、定期的に訓練を実施しています。また、訓練記録も残しており、反省点を次回訓練時へ展開しています。	訓練の実施記録や良かった点・反省する点を事業所内に蓄積して、事業所の知見としていきたいと考えております。
3	日常の情報共有と保護者対応の丁寧さ：HUGやLINE等で日々の様子を細かく伝え、送迎時の短時間の情報交換も大切にしています。	HUGでの日常の活動報告(写真付き)、LINEでの個別連絡・相談対応、送迎時の口頭共有を組み合わせる情報伝達を行っています。また、食育を実施する場合のアレルギーの確認も怠らず実施しています。	情報発信チャンネルを整理し、月間予定や行事報告の保護者様への展開を継続いたします。また、情報の見落としを防ぐために、LINEを利用したフォローアップも行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学移行支援の体系化に向けた準備段階：移行支援を体系化する余地があり、整備を進めることでより円滑な学校移行が可能になります。	保育園等との情報共有は適宜、実施しておりますが、就学予定の小学校や特別支援学校との情報共有は、まだ実施したことがありません。	今後、保護者様と相談し、必要に応じて小学校等との情報共有を検討していきたいと考えています。なお、就学移行に向けた内容の支援は、事業所で実施しておりますので継続してまいります。
2	保護者同士の交流を創出する余地がある：保護者様のニーズに応じた交流機会を設けることで、家庭間の支援力向上につながる可能性があります。	保護者会や父母の会の開催要望が少ないため、周知方法や開催形式が確立していない。	保護者様からの開催要望が少ないため、個別の相談等を実施しております。今後、要望が増えましたら、開催等も含めて検討したいと考えています。
3	職員のチーム運営と学びの場を拡充する：プログラム立案や振り返りを組織的に強化することで、支援の質をさらに高める。	活動プログラム立案が担当者に偏っている。また、支援終了後の振り返りが時間的制約で不十分。	プログラム立案を複数名体制にし、色々な職員に立案を経験して頂きます。また、支援記録をデータ化して支援成果を定性的に可視化する「成長レポート」の作成を検討し、時間的制約がある中でも支援の振り返りが出来るようにしたいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		多機能型児童発達支援 はにーびー				公表日	2026年2月24日	
						利用児童数	28	
						回収数	24	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2	0	2	設問①③④に関しては、事業所を決める際に見学しましたが、正直覚えていません。支援時の見学もしたことがないので、分かりません。 トイレや相談室への動線が少し狭いかもかもしれません。	今後も、日々の安全な活動のために、支援室は広いスペースを確保できるように留意いたします。加えて、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	0	2		現在、お子様1.2名に対し、職員を1名配置しております。ご利用されるお子様の低年齢化もあり、安全に支援ができる体制を整えております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	0	0	3	事務所内は大丈夫だが、建物の設備は少ない様に思う。急な外階段、エレベーター無のところ。	マンションの2階へ上がる階段の昇降時には、職員と手をつなぎ、手すりを持ってゆっくりと移動する等、安全に留意した行動を継続いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	1		発達支援室は45を心掛け、今後も障害物になる物の収納等を継続いたします。 また、長期休み前には、カーベットの洗浄を実施しております。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	0	0	0	もう少し個別の支援が受けられる機会が多くても良い。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1	0	0	事業所が公表している支援プログラムを把握できていません。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1	0	0	発達検査が出来てない状況の中で支援をお願いするため、先生方が手探りなのではと思います。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	2	親の困り事を忘れずに適切な時に連絡していただけるのが、すごく嬉しいです。 専門的な内容なので、あまり良くわからないというのが本音です。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	1	発達検査が出来てない状況の中で支援をお願いするため、先生方が手探りなのではと思います。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	0	1	お祭りやお買い物イベントは、子供も楽しんでいました。 色々な催し（プログラム）をして下さり、とてもありがたいと思っています。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	4	7	もしかしたらあったかもしれないが、把握していない。 他の福祉施設と連携していて良いと思う。保育園等は無かった様思う。 子どもは保育園で交流することはありますが、はにーびーさん内では不明のため。 わからないけれど、音段、幼稚園にも通っているので事足りていると思っています。 夏の水遊びやハロウィンのおかし交流などがこれに含まれるものですか？	徐々にではありますが、他の保育園様との職員同士の交流を、計画しながら進めております。 また、ご利用者様の状況を鑑みながら、他の福祉施設様とのイベントを通じた交流にも参加しております。
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	5	6	家族支援プログラムに関しては「はい」、家族等が参加できる研修会等については「わからない」です。 あるのかもしれないですが、活用した事はないです。相談という形で支援して頂いています。 あれば参加したい。 LINEやHUGを見る限りは、なさそうだった。 あるかどうかは存じませんが、ペアレントトレーニングはやった事があるので、差し迫って必要とは考えておりません。	保護者様を集めての研修会等は開催しておりませんが、個々の保護者様からのご相談を伺う際に、ご家庭での支援方法等も含め、お話をさせて頂いております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	2	0	0	送迎の際の少しの時間で子供達の近況を聞いてくれて、それを先生方で共有して頂いているのが良いです。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1	0	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご利用者様へのご支援を継続いたします。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	3	11	保護者会やきょうだいのイベントは、特にいらな いと思っています。今のままで十分です。 もしかしたらあったかもしれないが、把握してい ない。 あれば参加したい。お祭りは非常に良かった。勉 強になった。 LINEやHUGを見る限りは、なさそうだったので。 まだひとりなので分からないです。 父母の会などは希望していないので、個人的には 無くてもいいかななど思っている、このままでい いです。 きょうだいを通していいので、これには該当し ていないのかな?と思いました。	今後、職員で話し合い、保護者様からのニーズをお 聞きしながら、計画を進めていきたいと考えており ます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	20	1	0	3		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご 利用者様へのご支援を継続いたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	23	0	1	0		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご 利用者様へのご支援を継続いたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信さ れていますか。	22	0	0	2	私が個人的にHPやSNSを見ていません。 アプリを通してその日の活動の様子を細かく教え て頂けるのありがたいです。	HUGを通して、お子様方の活動状況や行事予定等を 発信しております。また、各ご家庭とLINEを使用 した連絡体制を構築しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	0	初めての利用の際に住所とサインと印鑑をした物 が行方が分からないのですが。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご 利用者様へのご支援を継続いたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。 また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1	0	1	事故防止、緊急時対応マニュアルは入所の際に説 明してもらった記憶がありますが、防犯、感染症 対応マニュアルは覚えていません。	今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご 利用者様へのご支援を継続いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	20	1	0	3	HUGで本日の活動内容の中になさそうだったの で。	避難活動や引き渡し訓練を実施しておりますが、各 曜日でまんべんなく実施できるよう配慮しながら、 計画していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	1		今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご 利用者様へのご支援を継続いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	3	今のところ、その機会がないので。（安全に運営 して頂き、ありがとうございます） 特に発生したことがないため。	お子様の怪我等の事故が発生した場合は、全て保護 者様へご連絡するとともに、明石様への連絡を徹 底しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	1		お子様が楽しく通所できるよう、楽しい雰囲気を持 続しながら、支援の実施を心掛けます。 今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご 利用者様へのご支援を継続いたします。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	1	0	1	毎日楽しみに通所しています。 行き渋る日もあります。	お子様が楽しく通所できるよう、楽しい雰囲気を持 続しながら、支援の実施を心掛けます。 今後も、現在のサービスレベルを維持しながら、ご 利用者様へのご支援を継続いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	0	0	0	かなり満足している。こどもの劇的な成長が見ら れた。相談した『歯磨き指導』を実施して下さ ったことに感謝している。 他事業所では、利用時間と送迎時間が暇味になっ て16時を待たずに送迎する処もあるけれど、は にーびーさんはきちっと時間まで見て下さってか ら送迎して下さるので安心感があります。	少しでも保護者様からのニーズに沿えるよう、今後 も鋭意努力を続けてまいります。 今後も、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し 上げます。

事業所名	多機能型児童発達支援 はにーびー
------	------------------

公表日 2026年2月24日

		チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	限りあるスペースで事故やケガが起こらない様に職員を配置しております。支援室には怪我の元となる物品等は極力置かず、職員室へ収納しております。	メインの支援室はいいと思う。午睡中、起きてる子が過ごす相談室の広さが欲しい。 お昼寝をしない利用児が過ごす空間が密室で狭い。長時間になる時は、工夫が必要。 利用曜日による。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	現在、お子様1.2名に対し、職員を1名配置しております。ご利用されるお子様の低年齢化もあり、経費等を鑑みながら、安全に支援ができる体制を整えております。	多く配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	施設内はバリアフリー化で段差の無い構造となっておりますが、マンション入口には階段があります。送迎時や外出時は、お子様と手をつなぎながら、手すりを持ち、ゆっくり昇降するなどの対応を心掛けております。	マンション入口の階段に高さがある。 入ってはいけない場所（職員室など）の掲示をしている。ある程度決まった場所で活動している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	2	業務終わりには掃除と消毒を行い、4Sを実施して、清潔で快適な空間となる様心掛けております。 また、長期休み前には、カーベットの洗浄を実施しております。	カーベットの掃除を定期的に行った方が良い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	支援室の他に相談室を設けており、午睡時やクールダウン時などに適宜、使い分けを行っております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	日々の振り返りからのPDCAサイクルを回しながら、支援プログラムの向上を図っています。 また、今後、お子様の日々の状態をデータ化し、年間の成長の見える化にも着手したいと考えております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	保護者様から頂戴したご意見をもとに、会議にて検討し、今後のはにーびーの運営に反映しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	本アンケート等を通して、職員の意見を把握し、働きやすい職場となる様、業務改善を進めていきたいと考えております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	5	あかし療育図鑑様の外部評価を実施しております。また、結果公表まで至っておりませんが、評価が出ましたら、内容を鑑み、業務改善を行いたいと考えております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	2	現在、弊社では、必須の研修は事業所内で実施し、それ以外の自己研鑽に関する研修は、外部研修を申し込む等で対応しております。なお、自己研鑽に関する研修は、会社より補助を出しております。	施設内の研修が少ないが、外部研修に参加している。 回数が少ない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	多機能型児童発達支援 はにーびーのホームページにて掲載しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	未就学のお子様が多いため、主に保護者様からのニーズを個別に聞き取り、また、日々の弊所での過ごし方等も鑑み、個別支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	個別支援計画を作成した後、各職員への回覧や朝礼時の児発管からの連絡などで水平展開を図っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	個別支援計画を作成した後、各職員への回覧や朝礼時の児発管からの連絡などで水平展開を図っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	弊所では、標準化されたアセスメントツールのアセスメントシートや5領域20項目チェックシートを使用し、お子様のアセスメントを行っております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	各項目の内容を踏まえながら、個別支援計画を作成しておりますが、今後も、さらに具体的な内容となるように計画内容の見直しを継続して行っていきたいと考えております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	3	活動プログラムは、数人の担当職員が他の職員からアドバイスをもらいながら、立案しております。職場に滞在している時間が異なるため、チームでの立案は難しいのが現状です。	毎月決められた職員が行っているため、月ごとで振り分けても良いのでは？ 主に担当が行っていて、知らないことも多い。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	直接支援する職員から、プログラムやイベント案を募り、マンネリ化しないように心掛けております。	工夫はされているが、マンネリ化している所もある。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	個別支援計画には、個別・集団活動の両内容を記載し、支援に取り組んでおります。	個別で対応する児童が多数いる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	支援開始前には、朝礼や昼礼を行い、その日の活動内容等について職員間の展開を実施し、お子様を迎え入れる用意をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4	支援終了後は、送迎に入るため、大切な申し送りはなされているが、(勤務時間の関係上)翌日の報告になる場合もございます。	困った事や送迎時の保護者様の話の内容を引き継いでいる。日常の振り返りや事例検討は行えていない。出来ている場面とそうでない場面がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1	日々の支援記録は、サービス提供記録に記載し、WebソフトであるHUGに保管されております。また、今後、お子様の日々の状態をデータ化し、年間の成長の見える化にも着手したいと考えております。	記録するだけになっている。記録はしているが、検証・改善には至っていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	モニタリングは定期的に児発管が行い、保護者様からのニーズの聞き取り等を実施し、個別支援計画の見直し・反映を行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	2	主に児発管が参加しております。	職員は参加できていない。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	3	少数ではございますが、お子様ご利用されている病院の主治医の先生やご担当される保健師の先生ならびに保育園の先生との情報共有を始めております。	保育園との連携が増えてきている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	お子様ご利用されている保育園の先生との情報共有を実施しており、弊所での活動時の見学、保育園での活動時の見学を行い、相互理解を深める対策を進めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	9	今後、必要になってくると思いますが、現在では、小学校や特別支援学校との間での情報共有は行えておりません。	小学校と共有したことがありません。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	6	今後、必要になってくると思いますが、現在では、あおぞら園様との間での情報共有のみ実施しており、スーパーバイズを受ける機会はありません。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	7	現在では、通所されているお子様が他のお子様と交流する機会は、図書館での活動時(読み聞かせ会に参加)や他施設とのイベント等に限られており、機会はそれほど多くはありません。	交流を持ったことがない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	日々のお子様のご様子は、HUGを通してご連絡しており、個別のご相談にも適宜、対応しております。	HUGを通して伝えているが、共通理解まで至っているかは分かりません。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	集団でのペアレントトレーニング等は実施できておりませんが、個々の保護者様への相談支援時にご家庭での支援方法等をお伝えしております。	支援方法をお伝えしているが、ペアトレと認識されていない場合がみられる。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	ご契約時に詳しく説明するように心掛けております。	どのように説明しているかは、立ち会っていないため、わかりません。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	ご利用前には、アセスメントを実施し、お子様や保護者様のご意向を傾聴しております。また、個別支援計画はお子様の最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者様にご確認いただき、ご了承を得た上で、ご利用を開始させていただいております。ただし、会話が難しいお子様もいらっしゃるため、その時は、保護者様からのニーズにて支援計画を策定しております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	ご利用前には、アセスメントを実施し、お子様や保護者様のご意向を傾聴しております。また、個別支援計画は、お子様の最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者様にご確認いただき、ご了承を得た上で、ご利用を開始させていただいております。ただし、会話が難しいお子様もいらっしゃるため、その時は、保護者様からのニーズにて支援計画を策定しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	ご家庭の支援の一環として、適宜、お悩みごとに対して、面談等を実施し支援を行っております。	定期的には行っていない。(相談があった時に適宜実施している)
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	10	保護者会、保護者同士の交流の場は、まだ、設けられておりません。保護者様各位とは、個々には交流を深める対応を行っております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	保護者様からの苦情やご連絡は、各職員へ共有し、迅速かつ適切にご対応するよう心掛けております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	イベント等は、各保護者様へ個別に情報をご提供しております。また、日々の支援内容等につきましては、Instagramでの展開やHUGを通した写真や状況のご連絡などで発信しております。	SNSの更新が止まってしまっているが、月間予定表で活動内容は伝えることができる。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	写真の送付時には、他のお子様が無関係に写らない様に心掛け、Instagramへのアップには、同意を得たお子様のみ掲載(顔は隠す)しております。また、お子様の個人情報の書類は、外部への持ち出しは禁止し、留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	適宜、お子様の思った事や感じたことを傾聴し、意思への配慮を実施しております。また、各保護者様とは、LINEやお電話を通した情報交換・共有を行う等実施しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	事業所の行事に地域の方を招待するなどは、実施しておりません。一方、近隣の福祉施設開催のイベントに参加したり、近隣スーパーでのお買い物体験や初詣等の外出イベントを実施しております。	近くの就Bのイベントに呼ばれたり、ハロウィンでは関わりを持ったりしています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	各種マニュアルは作成し、計画的に訓練を実施しております。また、消防署への見学等、施設外での体験等も実施しております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCPの策定を行い、研修とともに訓練も実施しております。また、非常食や避難用グッズ等も常備するようしております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	現在、ご利用されるお子様が服薬等の措置が必要な方はいらっしゃいません。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	現在、ご利用されるお子様が食物アレルギーをお持ちで医師の指示書がある方はいらっしゃいません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画は、多機能型児童発達支援 はにーびーのホームページに掲載しており、計画に基づいて、各種訓練や点検等を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	各種訓練については、取り組み内容等、保護者様と共有が図れております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	ヒヤリハット用の報告をファイルにまとめ、いつでも閲覧できる状態にしております。また、ヒヤリハットが発生した場合は、各職員へ情報展開を実施し、会議等で共有化を図っています。	概ね問題ないが、あいまいな所もある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1	定期的に虐待防止研修等を開催し、虐待防止対策を行っております。	全くないわけではないが、不十分だと思う。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	職員には定期的に身体拘束の研修を開催し、お子様への身体拘束を行う場合について、個別支援計画に記載しております。また、保護者様へは、同計画の説明時に身体拘束についてもお伝えしております。		